

学校番号	108	学校名	沼津特別支援学校 愛鷹分校	記載者	青木 暁乃
------	-----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	【防災・防犯・安全】 自ら命を守る意識と行動ができる生徒の育成	・「災害や犯罪から自ら命を守ることができる生徒を育てている」と答える教員 80%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の80%設定は達成できていると思うが、残りの20%で何をすればよいのかを検証していくとよい。 ・若い人の自死が多いこともあるので、命を守る教育や人権を守る教育では、具体的にどのような取り組みをするかを明確にしていくとよい。 ・SNSなど、見えないところでのいじめがある可能性も考えられる。自分自身で身を守るためにも継続した講習会は必要。 ・対面の訓練を少しずつ復活させてもらいたい。 ・非常時に地域から戦力として期待されるので、力をつけていくとよい。
		・「緊急時における対応力が向上している」と答える教員 80%			
		・「自分を守る授業を行うことができている」と答える教員 80%			
ア	【道徳教育・人権教育】 道徳教育の充実及び人権を意識した指導	・「道徳の授業を年2回行っている」と答える教員 80%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒の話を聞く機会を定期的に設けていることは良いと思う。 ・人権意識が向上しているのは、教員なのか生徒なのか分かりにくい。どのような表れを意識の向上としてとらえるのか共通理解しておくとうよい。
		・「人権意識が向上している」と答える教職員 85%			
		・「生徒に寄添い、話を聞くことができている」と答える教員 80%			
	【生徒指導】 学校や社会のルールを守って、安全に安心して生活することができる生徒の育成	・「校内や社会のルールを意識して安全に安心して生活する生徒を育てている」と答える教員 80%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のルールを守るためには、家族との連携は必要。自己責任だけでは難しい面がある。

様式第5号

イ	【授業改善】 「働く人を育てる」ことに着目し、生徒が、主体的・対話的で深い学びができる授業づくりの実践	・「生徒が主体的・対話的で深い学びをする授業の話合いができてい」と答える教員 80%	A	A	・報告通りで良い。
	【専門性】 キャリア教育の視点に基づいた、知的障害の特性に応じた指導・支援の向上と継承	・「主体的に学校生活や実習に取り組む生徒を育てている」と答える教員 90%	A	A	・報告通りで良い。
		・「障害の特性に応じた指導・支援ができてい」と答える教員 80%			
	【ICT】 ICTを活用し、生徒が主体的に取り組む授業づくりの実践	・「ICT 機器を授業で使っている」と答える教員 80%	A	A	・参観日に、ICT機器を活用している授業が多くみられる。
【図書】 読書指導の充実と自ら読書に親しむ活動の推進	・「生徒の図書に親しむ機会が増えている」と答える教員 80%	A	A	・今年度は保護者から見ても図書に親しむ時間が増えていると感じている。	
	・「図書を利用した活動を行うことができている」と答える教員 80%				
ウ	【共生・共育】 沼津城北高等学校との交流活動の充実	・「生徒が主体的に交流できる活動の機会を持つことができている」と答える教員 80%	A	A	・今年度は、沼津城北高校との文化祭が行えてよかった。 ・愛鷹分校の特徴を十分に発揮して交流を深めてほしい。併設されている高校との交流は、共生社会への第一歩となる。 ・それぞれにメリットがあるような交流に取り組み、数年後に「自立と輝き」がみられるとよい。
		・「沼津城北高等学校と一緒に行う行事や部活動等を計画している」と答える教員 80%			
	【センター的機能・理解啓発】 地域や学区の中学校、関係機関等との連携を図り、特別支援教育の理解啓発の推進	・「支援や指導について、地域の学校や関係機関と連携が取れている」と答える教員 80%	A	A	・報告通りで良い。
・「近隣施設等との交流活動を計画している」と答える教員 80%					

様式第5号

		・ホームページの更新 (月2回以上)			
エ	【マネジメント力の育成】 計画的、効率的な業務遂行力の向上	・「会議の効率化を意識できている」と答える教員80% ・「従来の業務を見直し、精選、合理化を図れている」と答える教員80% ・「支援方法の知識が深まり、指導力が向上している」と答える教員80%	A	A	・学校全体として効果的な運営を目指している姿が見られている。
	【本校との連携】 学校運営に関わる事務手続き、予算の計画的な執行等、本校事務との連携の強化	・「本校事務職員と連携して、事務手続きや予算執行ができている」と答える職員85%	A	A	・報告通りで良い。